2019年 8 月 9 日

研究に関するお知らせ

研究の名称：
電気痙攣療法におけるレミフェンタニルの安全性評価のための前向き観察研究

国立研究開発法人　国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせて頂きますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究の意義・目的・方法

電気痙攣療法（ECT）を行う際、治療にともなう不快感を軽減するため全身麻酔薬（チアミラール）を使用しますが、その量が多いと治療効果が得られない可能性があります。そのため、治療が不快だと感じられる方には、相談の上、治療効果への影響が少ないお薬（レミフェンタニル）を別に追加しています。今回の研究ではレミフェンタニルを使用することでECTの治療効果や治療の安全性に影響を与えないことを確認します。

《目的》ECTの治療効果や有害事象の発生率がレミフェンタニル使用により影響を受けるかどうかを確認します。

《方法》対象となる方の診療記録から、ECT治療中の血圧や心拍数、呼吸数、ECT治療の有効性等の情報を収集します。

■研究期間

研究期間：　2019年8月9日～2020年12月31日

■研究の対象となる方

2019年8月から2020年3月の期間中に当院でECT治療が施行されているすべての方

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（血圧、心拍数、呼吸数、ECTの有効性等）を研究に使用させて頂きます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院　麻酔科・ペインクリニック

東　　俊　晴

■お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
所属・役職	国府台病院麻酔科　医長・診療科長
担当者氏名	東　　俊　晴
住所・電話番号	272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1 047-372-3501（代表） 受付日時： 9:00　～　16:00　（月曜日～金曜日）